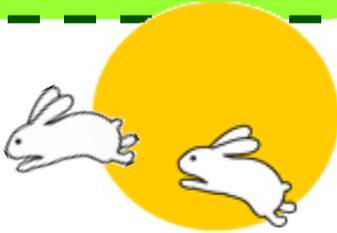


# TC 通信

No 88 2019年9月号

- ◆ティーンズ世代=10代のための読書情報誌です。(旧 YA 通信)
- ◆ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階ティーンズコーナー所蔵です。



ティーンズコーナーに新しく入った本からピックアップ。



## 『ひとりで、考える』

小島 俊明/著 岩波書店 10/ヒ/19

2020年度に、大学入試制度が大きく変わります。センター試験がなくなり、論述試験が取り入れられるようになります。自分が得た知識を基に、人生をどう生きたらよいかを理知的に考える方向へ日本の学校教育が変わり始めたのです。

正解のない課題に対して自分で「考える」ことが求められるようになります。この本では個の大切さ、哲学することの大切さ、想像力の大切さを説いています。

フランスの教育制度の紹介を始め、「アンパンマンのマーチ」の歌詞や、安野光雅の文字のない絵本にもふれ、また『おとなのための星の王子さま』の著者だけあって『星の王子さま』の中にある“哲学”にもふれています。

さあ、みなさんもこれから世界的に求められる「自分で考え、自分の考えを持っている人」を目指しましょう！

## 名作 たからばこ



## 『マンガ日本の古典2 落窪物語』

花村 えい子/著 中央公論新社 726.1/マ/18-2

『落窪物語』は『竹取物語』と同様に作者不明、『源氏物語』や『枕草子』よりも前に執筆されている古典文学です。

ヒロインである落窪の君は美しく優しい女性ですが、継母にいじめられ、床が落窪んだ部屋で生活をし、ひたすらお針子の仕事をさせられています。

それを将来有望でイケメンな少将に見初められ、救い出される……まるで『シンデレラ』のようですね！

魔法使いは出てきませんが、落窪の君に一途に仕える女房が姫を助けるために活躍し、落窪の君の夫となった少将が妻を苦しめた人たちに復讐をする勧善懲悪の物語となっています。

古典文学は敷居が高いと敬遠してしまいがちですが、平安時代のライトノベルのような作品なので、古典文学初心者の人でも楽しく読める本です。

# テーマ 宇宙

アポロ11号の月面着陸から50年経った今でも、私たちが見上げる夜空の向こうは不思議がいっぱいです。ロマンたっぷり、宇宙や星に関する本を紹介します。

## 『宇宙エレベーターの本』

宇宙エレベーター協会/編 アспект 538.9/ウ/14 4階一般



2050年、私たちはエレベーターで宇宙に行けるかも知れません！そんな夢のようなプロジェクトが実際に進められています。

宇宙へ行ってみたいという人は6割近くいるそうです（JAXA調査）。でも今のところ、宇宙飛行士になるか、数十億円を払うかしなければ、宇宙に行く方法はありません。もし宇宙エレベーターができれば、宇宙飛行士のような訓練を受けなくても、例えば高齢者や体の不自由な方でも宇宙へ行ける機会がくるかもしれないのです。

この本は、地上と宇宙を結ぶ宇宙エレベーターの実現までの道のりと、実現後の世界がわかりやすく解説されています。

また「宇宙エレベーターに乗っている時はどんな食事が出るの？」とか「エレベーターに乗っているときはどうすごしたらいいの？」といったQ&Aも掲載されています。

田原総一郎や堀江貴文などのインタビューも掲載。

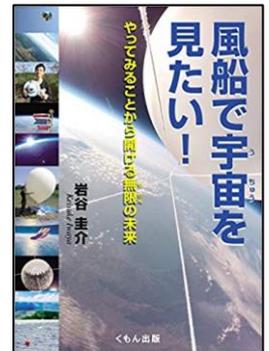
## 『風船で宇宙を見たい！やってみることから開ける無限の未来』

岩谷 圭介/著 くもん出版 74/フ/19 3階児童

この本の著者の岩谷さんは宇宙が大好きな人で、失敗を重ねながら試行錯誤して、なんと風船で宇宙を撮影するという夢を叶えたのです！

鮮明な宇宙の写真撮影に成功した時に「自分が地球の一部であることが、科学雑誌や図鑑から得た知識でなく、自らの体験をもとにした実感だった」と言っています。

成功すればその一瞬にスポットライトが当たりがちですが、地道な努力を続けてきたからこそこの結果です。夢を叶えるために、チャレンジする第一歩を踏み出すことの大切さを教えてくれる本です。



## 『すごい夜空の見つけかた』 林 完次/写真・文 草思社 748/ス/11



天体写真の第一人者、林完次氏の感動的な写真作品のコレクションである。『すごい夜空の見つけかた』というタイトルからもわかるように、夜空の魅力を一目で感じられるよう工夫が凝らされている。「夕暮れ」「月夜」「星空」の3章の構成で、太陽や月、惑星から銀河、流星、彗星、四季折々の星座や遙か遠くの星雲といった、貴重で美しい写真が左のページに配置され、右のページにはそれぞれの写真の解説が奥深い日本語とともに、歳時記のように綴られている。

古代、人々は夜空を見上げ、星をつなぎ、さまざまな物語を紡いでいた。あなたも空を仰いで遙か遠い宇宙のドラマを楽しんでいるだろうか。秋の夜長、時には心のゆとりを持って夜空を見上げてみよう。広大な夜空に遊ぶ時、本書はその楽しみを倍増してくれる、とても頼もしい一冊になるに違いない。

## 『太陽系観光旅行読本』

オリヴィア・コスキー ジェイナ・グルセヴィッチ/著 露久保 由美子/訳  
原書房 538.9/タ/17 4F一般

宇宙観光ができる時代が、現実味をおびてきた今日この頃。あなたはどの惑星に行ってみたいですか？現在、宇宙に行くためには厳しい条件をクリアしなければいけないイメージがありますが、これから先はきっと、条件もなく、宇宙旅行が当たり前の時代がくるのでしょうか。やはり一番初めの宇宙旅行は月でしょうか。でも他の惑星も気になりますよね、そんなときはこの本です。

宇宙旅行をするにあたって重要な、観光する惑星の到着までの所要時間や重力、天気や温度、さらにはセールスポイントなど、太陽系の惑星ごとにプロフィールが掲載されています。宇宙に行くためにはどのようなことが必要なのかが明確に掲載されていますので、この本片手に宇宙旅行へ行く準備を整えてみませんか？惑星ごとのプロフィールを比較してみるだけでもなかなか楽しめること間違いなしです。



# ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会)

『声の網』 『夢魔の標的 声の網 (星新一の作品集6)』より

星 新一/著 新潮社 918/51/D6 閉架書庫



携帯電話がなかった時代、固定電話は通話だけでなく情報を収集するためのツールとして使用されていた。情報の網はクモの巣のように張り巡らされ、情報が人々を支配していく・・・。

現代に通じる、そして今だからこそ私たちが実感できる日常の恐怖を著した短編連作集です。

ショートショートの第一人者、星新一がなんと50年前に著した予言の書。是非ともご一読を！

## 図書館員 M の本棚

元美術館キュレーター（学芸員）という経歴を持つ原田マハの作品には、美術を題材にしたミステリアスなアート小説が多くある。なかでも、自身が偏愛する4人の画家とその代表作をめぐる、ちょっともの哀しい物語4編をご紹介します。ルソーの「夢」、ピカソの「ゲルニカ」、ビアズリーの「サロメ」、ゴッホの「星月夜」。4人の画家たちの生きざまと、その作品が生まれ出された背景や周辺を取り巻く人々などが、史実と想像を交え、とても丁寧に綴られている。読後、それぞれの名画が心に焼きついたら、早速、画集を開いてみよう。読書の秋、そして芸術の秋を満喫！



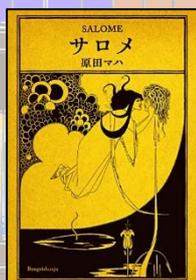
### 『楽園のキャンバス』

原田 マハ/著 新潮社  
F/ハラ/11 4階一般



### 『暗幕のゲルニカ』

原田 マハ/著 新潮社  
F/ハラ/16 4階一般



### 『サロメ』

原田 マハ/著 文藝春秋  
F/ハラ/16 4階一般



### 『たゆたえども沈まず』

原田 マハ/著 幻冬舎  
F/ハラ/17 4階一般



# 進路相談室



Q. 進学・就職かも迷っているのに、大学がたくさんありすぎて、  
 どうしたらいいかわかりません。  
 どうすればよいですか？どう選べばよいですか？

## A. 『大学ランキング 2020年版』

朝日新聞出版 377.2/夕/19 4F一般 はいかが？



大学にランキング本があるのはご存知かしら？この本には大学の偏差値のランキングだけではなく、教員の賃金や資格の取得ランキング、初年度の納付金額、一般入試志願者、社長の出身など様々な事柄がランキングとして掲載されているのよ。だから将来自分に必要なことを思い描いて、大学を選ぶことに役立つこと間違いなしよ。大学ごとの強みが一目で見えるって素敵よね。将来のなりたい自分になるために、この本を参考にして将来設計してみてもはどう？よりよい未来の為に、選択肢はいくつあってもいいのよ。

ちなみに一年ごとの出版（4月に発行）だから、毎年新しいデータで出版中よん。将来が決まっている人もいない人も、読んでおいて損にはならないはずよ。あなたたちの未来に幸あれ。一度きりの人生、悔いなく楽しく生きて頂戴ね。



## ティーンズコーナーとは??

中高生（ティーンズ）世代に向けたさまざまなジャンルの本を集めたコーナー。図書館3階にあります。大きな看板が目印！

児童書よりも文字数が多くむずかしい本へのステップアップをはじめ、悩み解決のヒントになる本・知識を深める本・趣味を広げる本などをたくさん用意しています。

「〇〇について調べたい！」  
 「△△の本はどこ？」など、  
 本に関する相談や探し物は  
 職員に気軽に聞いてみてね。



発行：春日井市図書館

愛知県春日井市鳥居松町5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

※表紙画像の掲載にあたっては出版社から許諾を得ています。